

群馬県公立高校入学者選抜制度の改善方針について（案）

令和3年〇月〇〇日
高 校 教 育 課

はじめに

令和2年3月の「第2期高校教育改革推進計画」の策定に係る有識者委員会（群馬県高校教育改革検討委員会）からの報告（「今後の県立高校の在り方について」）において、入学者選抜制度について、「より適切な制度の在り方について検討が必要である」とされたことから、令和2年9月に入学者選抜制度検討委員会を設置し、入学者選抜に焦点を絞った検討を行ってきました。同委員会では、入学者選抜制度の変更が中学生や保護者、中学校での指導に与える影響の大きさも考慮し慎重に審議が重ねられました。令和3年3月に「群馬県公立高校入学者選抜制度の在り方について」として、同委員会における審議結果が取りまとめられ、県教育委員会に報告されました。

折しも、令和2年度には「新・群馬県総合計画」が策定されました。これは、20年後の目指す姿を描く「ビジョン」と、これを踏まえて、今後10年間に重点的に取り組む具体的な政策を体系化した「基本計画」の2つを合わせた計画であり、教育イノベーションの推進と「始動人」（新しい領域で動き出す力を持つ人材）の育成が提言されています。

将来を予測することが困難な時代にあって、価値観の多様化や課題の複雑化を踏まえた新たな学びを提供し、未来を切り拓く人材を育成することが学校教育に期待される中、中学校・高校双方の教育に大きな影響を与える、高校の入学者選抜の在り方について、教育イノベーションの視点を踏まえた検討が必要です。

県教育委員会では、こうした状況も踏まえ、入学者選抜制度の改善について具体的な検討を進め、新たな公立高校入学者選抜制度を取りまとめました。

1 入学者選抜制度の現状と主な課題等

入学者選抜制度検討委員会では、現行の入学者選抜制度について、次のような課題の指摘がありました。

- (1) 前期選抜の募集人員を、定員の10%から50%の間で定めていることから、多数の受検者が不合格を経験することになり、心理的な負担が大きくなっている。また、不合格となった受検者の多くが、後期選抜で同じ学校・学科を受検し、合格している。
- (2) 2月初旬の前期選抜の出願から3月下旬の再募集まで、受検期間が約2か月間の長期に及ぶため、中学校・高校双方において、3学期の授業時間を十分に確保できない。また、高校においては、採点を含む選抜業務の日程が過密である。
- (3) 前期選抜の結果から、後期選抜で受検校を変更する受検者が一定数おり、後期で安易に合格しやすい学校を受検するなど、志願先の変更が本意入学などの一因となっている。
- (4) 前期選抜と後期選抜で異なる選抜尺度を用いることで、多様な観点による選抜を行っているが、一部の学校では、前期、後期双方の選抜で学力検査の結果が重視されている。

- (5) 現行の日程は過密になっており、3月上旬に後期選抜を行った後、3月下旬の同日に再募集と追検査を実施せざるを得ないことから、追検査の受検者は再募集へ出願できず、受検機会の保障が十分でない。
- (6) 学力検査問題について、受検者の「自ら考え、表現する力」をより適切に評価できるよう改善を進める必要がある。
- (7) 前期選抜で提出を求めている志願理由書について、受検者の志願理由の明確化につながる一方、前期選抜が迫った時期に作成する必要があるなど、受検者の負担が大きい。
- (8) 出願に係る書類等の提出は中学校を經由して行っているが、出願手続や選抜業務の効率化の観点から、実態を踏まえたICTの活用を検討する必要がある。
- (9) 定時制課程選抜の追加募集が、年度をまたいで4月の実施となっていることから、年度内に受検日程が完了するよう、全日制課程と併せて検討する必要がある。

2 新たな入学者選抜制度の概要

県教育委員会では、入学者選抜制度の現状を改善し課題の解消を図るため、別紙のとおり新たな公立高校入学者選抜制度を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

- (1) 前期選抜と後期選抜で定員を分割している現行の制度を見直し、1回の本検査で全ての定員を選抜する新たな制度を導入する。
- (2) 新たな制度においても、受検者の意欲や個性、中学校での活動実績等を重視する前期選抜と、学力を中心に総合的に評価する後期選抜、双方の趣旨を継承する。
- (3) 全日制課程及びフレックススクールの全ての受検者に、学力検査と面接を課すとともに、複数の観点による選抜（特色型（始動人型）、総合型）を実施する。
- (4) 新学習指導要領に示された資質・能力、学習評価の考え方を踏まえ、受検者の学力をより公正・公平に評価できるよう、検査問題の改善を図る。
- (5) 志願理由書を高校生活のビジョンや学校内外の活動歴を記載するエントリーシートとして位置付け、全ての受検者に提出を求めるとともに、記載内容を精選し、負担の軽減を図る。
- (6) 年度を越え4月に実施している定時制課程の追加募集を、年度内に終了させる。

3 実施時期

入学者選抜制度の変更に伴う受検者への周知期間及び中学校・高校の準備期間を考慮し、令和5年度末に実施する令和6年度入学者選抜（現在の中学1年生が対象）から実施する。

4 その他

- (1) 今後は、中学校、高校の関係者の意見等を聞きながら、本検査及び追検査の日程や、具体的な選抜実施方法等について、引き続き検討する。
- (2) 新しい入学者選抜制度の円滑な実施に向け、検討内容に関する決定事項については、中学生、保護者及び県民等に、適時に広く周知する。

(新) 公立高校入学者選抜制度

1 新制度の導入

令和5年度末に実施する令和6年度入学者選抜（現在の中学校1年生が対象）

2 選抜の内容等

(1) 本検査（現行の前期選抜と後期選抜の趣旨を継承しながら一本化）

ア 実施時期 2月中旬～下旬

イ 検査項目

第1日 学力検査（5教科）

第2日 面接等

ウ 選抜方法等 全ての受検者を対象に複数の観点（型）で選抜

○ 特色型（始動人型）（仮称）【定員の10～50%】

選抜方法：調査書、面接等を重視し、多面的に評価

（現行の前期選抜の観点を継承するとともに、学校独自の観点も加え、より多面的に評価する。）

○ 総合型（仮称）【定員の50～90%】

選抜方法：学力検査の結果を重視し、総合的に評価

（現行の後期選抜の観点を継承する。）

エ 志願先変更 制度変更から当面の間、2回の志願先変更期間を設定

オ 合格発表 3月上旬

(2) 追検査（感染症等で本検査を受検できなかった受検者を対象に実施）

ア 実施時期 3月上旬～中旬（本検査合格発表後）

イ 検査項目 本検査に準じる。

ウ 選抜方法 本検査に準じる。

エ 合格発表 3月上旬～中旬

(3) 再募集（本検査及び追検査の合格発表後、5人以上の欠員がある学校で実施）

ア 実施時期 3月中旬～下旬（追検査合格発表後）

イ 検査項目 面接及び作文等

ウ 選抜方法 調査書、検査結果等を重視し総合的に評価

エ 合格発表 3月下旬

3 その他

(1) 志願理由書（エントリーシート）

ア 提出趣旨の明確化

・面接の補助資料として活用することを明示する。

イ 様式等の見直し

・項目の精選や文字数の削減を行う。

・コピーでの提出を可とする（令和4年度入学者選抜から導入予定）。

(2) 出題内容の配慮

・検査時期が早まることから、中学校の学習状況に十分配慮する。

(3) 定時制課程の追加募集

・追加募集の日程を3月下旬に設定する。

(4) 出願手続の省力化

・出願手続におけるICTの活用を検討する。

公立高校（全日制・フレックススクール）入学者選抜制度＜現行制度と新制度の比較＞

| 現行制度 | 新制度 |
|--|---|
| <p>■前期選抜（調査書、面接等重視）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施時期：2月上旬 ○募集人員：定員の10～50% ○検査項目：学力検査（3教科） または総合問題、 面接等 ○選抜方法：調査書、学力検査、 面接等の結果等を 総合して選抜 ○願書等受付：2日間 ○志願先変更：なし | <p>■本検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施時期：2月中旬～下旬 ○募集人員：定員の100% ○検査項目 <ul style="list-style-type: none"> 1日目：学力検査（5教科）※ 2日目：面接等 ※フレックススクールの教科数は今後検討 <p>○選抜方法</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・特色型（始動人型）（仮称） ：10～50% 学習意欲や学校内外での活動歴 等を重視し評価 ・総合型（仮称）：50～90% 学力検査を重視し評価 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○願書等受付：2日間 ○志願先変更：当面の間は2回 |
| <p>■後期選抜（学力検査重視）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施時期：3月上旬 ○募集人員：定員の50～90% ○検査項目：学力検査（5教科）、 面接等 ※フレックススクールは3教科で実施 ○選抜方法：学力検査、調査書等 の結果を総合して選抜 ○願書等受付：2日間 ○志願先変更：1回 | |
| <p>■追検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受検対象：感染症等で後期選抜を 受検できなかった受検者 ○実施時期：3月下旬 ○検査項目：後期選抜に準じる。 | <p>■追検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受検対象：感染症等で本検査を 受検できなかった受検者 ○実施時期：3月上旬～中旬 ○検査項目：本検査に準じる。 |
| <p>■再募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○後期選抜合格発表後、学校全体 で5人以上の欠員がある学校で 実施 ○実施時期：追検査と同日 ○検査項目：面接、作文等 | <p>■再募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本検査及び追検査合格発表後、 学校全体で、5人以上の欠員があ る学校で実施 ○実施時期：3月中旬～下旬 ○検査項目：面接、作文等 |

○定時制課程選抜の追加募集を3月下旬に実施する。

選抜の流れ（イメージ）

全ての受検者を対象に特色型（始動人型）（仮称）、総合型（仮称）の2つの観点（型）での選抜を実施（型を選択する必要なし）。

